

## 123 オナガ

(スズメ目)

兵庫県ランク: Ex

*Cyanopica cyanus*

繁殖個体群:Ex 越冬個体群:Ex 通過個体群:Ex

環境省ランク:

### 種の概要

シベリア東部からモンゴル、中国、朝鮮半島、日本などに繁殖分布する。日本では、本州北・中部に周年生息し繁殖する。かつては本州南西部と九州にも周年生息し繁殖していたが、現在は絶滅した。平地から山地の明るい林や農耕地、緑の多い住宅地に生息し、屋敷林や公園の高い木の梢に営巣する。昆虫類やミミズ類、果実、種子、小鳥類の卵などを採食する。

写真なし

### 国内分布

本州北・中部、本州南西部、四国、九州、伊豆諸島

### 県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、伊丹市、加古川市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、稲美町、播磨町

### 主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

1960年代初めまでは瀬戸内側の海岸沿いの松林に多数が周年生息し、繁殖していた。当時の標本(成鳥、巣、卵)が兵庫県立人と自然の博物館及び姫路市科学館に保管されている。その後急減し、1967年には明石市土山や神戸市玉津、西宮市から宝塚市に続く武庫川沿いの松林などで少数が繁殖するだけとなっていたが、1972年を最後に姿が全く見られなくなっている。

### 保護上の留意点

本種の現在の分布の南限(本州中部)を考えると、県内への自然な分布拡大は難しいと考えられる。一度絶滅した種を復活させるには再導入という方法があるが、その計画は慎重に進める必要がある。